

## 祝　辞

千古の都にも爽やかな秋の気配が感じられる今日この頃、本日卒業を迎えた86名の皆様、誠におめでとうございます。

大学での学びの区切りを迎えられ、感慨もひとしおの事と思います、皆様のこれまでの努力に対し、鷹陵同窓会を代表して心よりお祝いを申し上げます。

また、修士課程・教養講座を修了された方々、誠におめでとうございます  
同じ佛教大学で学んだものとして、今後とも御縁をいただければ幸いです。

皆様は入学を志した日から今日まで、学ぶことの喜び、そして苦しみなど、様々な体験をされて來た事と思います。昨年来よりの新型コロナウイルス感染症により、まん延防止等重点措置・緊急事態宣言発令等、日常生活において多くの制約を受けており、未だに終息の兆しを見せない状況の中、苦難を乗り越えてここに晴れの授与式を迎えたこと、感慨もひとしおの事と存じます。

佛教大学通信教育の精神は、法然上人が遠く離れた地方に住む弟子や信徒に対して教えを伝えた、御消息と云う手紙にあると伺っております。この精神を受け継ぐ、伝統有る佛教大学の卒業生であることは、私たちにとって大きな誇りであり、本日、皆様が手にした卒業証書は、学業成就の証であると共に、そこに込められた法然上人の精神をもって、私たちと大学を繋ぐ絆ともなります。

私達の鷹陵同窓会は、昭和31年に第一期生の有志により立ち上げられ、日本国内に支部を置き、現在、2万人以上の同窓会員を擁し、在学生との交流も図り、研修会、講演会を実施し、地域を跨いでの活動も活発に行われています。

同窓会とは不思議なもので、佛教大学の卒業生というだけで旧知のような仲になってしまいますが、私自身同窓会は、成長と心の拠り所の場と思っており先輩や多くの仲間との交流によって、思わぬ人脈が広がり自身の成長に大いに役立っていると感じています。

卒業・修了された皆様方には、是非とも鷹陵同窓会に入会して頂き、在学生との橋渡し役として、今後とも御縁をいただければ幸いです。

『心のふるさと佛教大学』で皆様方と又、お会いできる事を期待しております。

最後になりましたが、皆様がますますご健勝で活躍されますことを祈念し、併せて母校のさらなる発展を願って、お祝いのことばといたします。

令和3年9月26日

佛教大学鷹陵同窓会 会長 河田 茂美